

もりただより

vol.24

発行責任者
森田 卓司
岡山市北区建部町
大田 4750-20
TEL:086-722-9900
FAX:086-722-9911
TEL:086-722-2237
(FAX 兼用)

発行年月日 '18.2.1

未来へ躍動する

桃太郎のまち岡山



ご挨拶

昨年を振り返りますと、岡山市長選挙・衆議院の解散による総選挙等、岡山市にとっても、日本にとっても非常に大切な選挙が10月に連続で執行されました。結果は、マスコミ等の報道のとおりですが、投票率の低さが気になるところです。岡山市民の皆様方にとって特に重要な選挙であるはずの市長選挙が、28%代の投票率であったことは大変残念であり、投票率を上げるために、更なる対策を考えなくてはなりません。

さて、岡山市議会では各会派の申し合わせで、議員の任期である4年間の半分の2年間で、議長をはじめとする、常任・特別委員会の改選等を行っておりますが、これらを決定する5月臨時市議会が昨年5月に開催されました。当議会で、私ごとになりますが、総務委員会委員長に選出されました。身の引き締まる思いであり、6月・8月・11月の定例岡山市議会、委員会付託議案等の審議を取り仕切り議会最終日に委員長報告を行ったところです。

岡山市政においては「岡山市第六次総合計画長期構想」の実現に向けて、平成28年度から5年間の具体的な計画を示した「前期中期計画」を、平成29年2月定例岡山市議会で議決いたしました。現在、岡山市の中心市街地では、路面電車の駅前乗り入れ・新市民会館・本庁舎の建替え等多くの課題を抱えています。そして私にとって最重要課題である、合併地域を含む周辺地域の振興も正念場を迎えています。冒頭で述べた、岡山市長選挙で、大森市長が低

投票率ではありましたが1期目の得票数を大きく上回り再選しました。

そのような中、11月定例岡山市議会の市長の所信表明の冒頭で、

「合併特例債を活用して積み上げた、35億円を超える地域振興基金を活用して新たな取組みを始める時であり、平成30年度からの10年間を目標に、地域住民はもとより、地域内外のNPO法人など多様な主体が中心となり、持続可能な地域づくりに向けた取組みを進められる仕組みづくりを力を入れたい」と表明されています。

このことは、市長選挙で多くの地域の現状を見たこと、市民の皆様方の意見を聞いたことが大きな要因であるとともに、私も定例市議会の個人質問等で様々なことを指摘したことも、周辺地域の振興に対して市長が目に見える事業を展開することの表明に繋がったと感じています。

いずれにしても、本年も多くの市民の皆様方と対話をして、そのご意見やご要望を市政に反映させ、夢がある岡山市・住み続けたい岡山市の実現を目指して頑張ります。

今後、皆様方の変わらぬご支援、ご指導をお願いすると同時に皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



平成29年1月臨時岡山市議会1月13日に開催されました。
平成29年2月定例岡山市議会が2月21日から3月17日までの25日間の会期で開催されました。
平成29年5月臨時岡山市議会が5月17日から会期を一日延長して5月19日まで開催されました。
平成29年6月定例岡山市議会が6月8日から6月26日までの19日間の会期で開催されました。
平成29年8月定例岡山市議会が8月30日から9月15日までの17日間の日程で開催されました。
平成29年11月定例岡山市議会が11月30日から12月21日までの22日間の日程で開催されました。



「夏まつりinみつ2017」
昨年も多くの地域で花火大会
が開催されました。

岡山市民の日と桃太郎の日

Q: 森田 卓司

平成24年3月22日に、6月1日を「岡山市民の日」と制定し宣言をした。6回目を迎えた本年は、6月1日岡山市民の日推進協議会の皆様方を中心となって関連行事を含め色々と企画がされてきた。6月1日は岡山市が主体となって岡山市民が最も一体感を感じる日にすべきではないか。

A: 市民協働局長

6月1日に焦点を当てた各種イベントや市有施設等の開放等庁内各部署に働きかけ市の関連行事をふやすなどして、盛り上げるよう考える。

Q: 森田 卓司

10月7日の「桃太郎の日」は本年だけの設定か。

A: 大森市長

秋の桃太郎祭りの初日を「桃太郎の日」と設定し、動画や桃太郎大通りでのイベント等事業の身を一齐にお披露目していく予定であり、来年度以降も秋の桃太郎祭りの初日を「桃太郎の日」として実施できればと考えている。

※平成29年6月定例岡山市議会質問

平成29年2月定例岡山市議会個人質問項目

(二問一答方式)

1. 周辺地域と中心市街地について
 - (1) 福渡第二保育園について
 - (2) 町内会長等へのアンケート調査結果について
 - (3) 周辺地域の道路整備と用地買収について
2. 平成29年度予算(案)より
 - (1) 観光看板・案内看板について
 - (2) ごみ処理広域化対策事業について
 - (3) 学力向上推進プロジェクト事業
3. 障害者センターについて

平成29年6月定例岡山市議会質問項目

(二問一答方式)

1. 岡山市の一体感と地域の特性について
 - (1) 岡山市民の日について
 - (2) 桃太郎の日について
 - (3) 御津有線放送施設について
2. 平成29年度旭川ダム管理連絡会議より

平成29年8月定例岡山市議会質問項目

(二問一答方式)

1. 周辺地域の活性化について
 - (1) 人口減対策について
 - (2) 浜松市の取り組みから学ぶべきでは
2. コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業について

平成29年11月定例岡山市議会個人質問項目

(二問一答方式)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 周辺地域の活性化について
 - (2) 職員との対話について
2. 市有財産の有効活用について
(旧建部町温泉会館)
3. 小規模校におけるICTを活用した学校づくりについて

インターネットで検索クリック!!

森田たくし 検索

市長の政治姿勢について

Q：森田 卓司

※平成29年8月定例岡山市議会質問
大森市長の1期4年間のかけ取りで岡山市の周辺地域を変える体制が整ったと感じている。

A：大森市長

生活交通、用水路や鳥獣対策、また地域おこし協力隊の導入、この地方創生拠点整備交付金の活用、さまざまな手段を駆使しながら周辺地域についての対策はやっていく。しかし、周辺地域が劇的に変わってない事も承知している。

Q：森田 卓司

浜松市の地域密着型NPO法人についての感想はどうか。

A：市民協働局長

浜松市の中山間地域密着型NPO法人は、中山間地域の課題解決を目的として地域住民を中心に設立されたNPO法人である。地域の課題解決を目的として共有し、組織と活動をつくり出していく地域密着型のNPO法人は、中山間地域に限らず持続可能な地域づくりを進める有効な担い手の一つであると考えている。

Q：森田 卓司

課題は出尽くして、このままほっておけば、今はよくても3年後、5年後、10年後には人も住めない地域が出てくる事もわかっていると思う。是非とも2期目に向けて周辺地域の政策を目に見える形で進めるべきではないか。

A：大森市長

非常に難しい世の中になってきたと思う。現在岡山市全体では幸いに社会増が大きいので、人口は増加しているが、幾つかの政令市では減少になっている。

大きな面では本当の人口減少社会になっている。言うのは簡単だが、責任を持って行くのが、首長の仕事と思う以上、急に人口がこれからも増加していくというのは、難しいと思っている。

ただ、周辺地域においては、やっぱり人口減少だけでなく、コミュニティが維持できるのか、という事になっている。産業の問題にしても、農業にしても非常に大きな問題が出てきている。そういう中で、中心部と周辺部を一体的に考える意識は持っている。2期目では、市全体と周辺部に生活されている方々のことを当然念頭に置きながら様々な施策を講じる。

市長の政治姿勢について

Q：森田 卓司

※平成29年11月定例岡山市議会質問
合併地域では、道路とか下水道とか継続事業はまだまだ続くわけですが、新市建設基本計画の大きな事業は概ね完了していると思う。2期目を迎えて、中山間・周辺地域の振興、活性化について具体的な政策、予算編成についてのご所見を問う。周辺地域、中山間地域の振興についてどのように盛り上げていくのか、大きな課題での質問としてご所見を。

A：大森市長

（再質問に対する答弁、ほぼ原文です）
実は8月議会で森田議員、浜松の例を出されて質問、周辺地域の話がされました。そこで勉強会を事前にやっていたときに、これだけの交付金というか、お金がどういうふうな形で出たのかという話を担当のほうに聞いたところ地域振興基金の話が

出て、それまでも市役所のスタッフとしてはその基金の使い方みたいな議論はしていたらいいんですけども、実際正直言ったら私、承知したのがそのときであります。これを一体どうするかというのは、常に頭の中にはそれ以降はあったんですが、正直今回、建部、御津にも行かせていただきました。そして、瀬戸にも行かせていただきました。灘崎にも行かせていただきました。そして、合併地域というよりも、やはり相当地中山間の状態である足守等々にも行かせていただきました。そして、多くの方からお話を伺ったところでもあります。個々での話を申し上げる場ではないと思いますけれども、それぞれの方が切々と訴えておられました。我々の生活はこれからどうなるんだらうというような不安感が非常に満ち満ちていたと私は思います。

そういう面ですけれども、そういう面を牽引していくということはこれからも必要だとは思いますが、そういう面です。そういう合併地域、周辺地域の方々の思いにどう応えられるのかということですが、そういう35億円という基金を使うのは今しかないんじゃないかというように思いに至ったわけでありまして。これから使い道を議論していかねばならないと思いたしますが、単に資金を使うというだけで物事が動くとは思いません。しかしながら、これを一つのきつかけとして地域の活性化そしてきつかけの維持、そういったことにぜひ使ってプラスにしていきたいなと思っております。

Q：森田 卓司

2期目に入った今やらなくてはいけないこと、10年後、10年間はかけてやらなければならぬ事。特に今、目に見えて本当に自分たちの周辺地域が動いていると実感する施策を考えるべきではないか。

A：大森市長

非常に難しい質問であるわけですが

も、まずなぜ10年というのをひとつイメージしたかというと、これは数年でできる話ではなくて、10年なら10年という一定の期間が必要だろうということでも10年ということを取りあえず考えさせていたことなのではないかと思いますが、じゃあこの4年何するかということなどは、やはり軌道に乗せるということなんじゃないかと思っているんですね。だから、まだそういう事業のスキームも整理はできていないところでありまして。気構えだけを述べさせているというわけですね。私が必ずしもうまくいっているわけではない。ただ、岡山市の周辺近いうことであれば、まだまだ大消費地に近いうところもありまして、私は少しコストを低減させていくとかということができれば、大きくビジネス、コミュニティビジネスは成り立っていくんじゃないかとも思っているんです。だから、そういう面で少しトライして前に進んでいきたいと思っております。



岡山市スポーツ少年団体育大会

2017みつ健康マラソン大会

約1,700名の参加者で盛大に開催されました。私は、1



大森岡山市長

森田卓司

安全・安心ネットワークの活動について

Q: 森田 卓司

安全・安心ネットワーク事業は、うまく機能しているところばかりではないと

A: 市民協働局長

安全・安心ネットワークの活動につきましては、それぞれの地域においてそれぞれ

※平成29年11月定例岡山市議会質問

岡山市地域おこし協力隊

岡山市に初めて地域おこし協力隊が導入されて2年が経過しようとしています。



平成28年6月の着任以来、どこの地域に訪問しても温かく受入れてもらい、ねぎらいの言葉

岡山市地域おこし協力隊 江田 香代

岡山の生活も2年が過ぎました。家族共々地域の方に恵まれ、環境にも慣れてきました。

岡山市地域おこし協力隊 宮嶋 泰明

この約2年間で、多くの「初めて体験」ができたことは感謝です。特に農作業や加工品製造

岡山市地域おこし協力隊 高橋 律子

- 1. 2年間の活動で思うこと
初めての草刈りや畑仕事、「建部祭り」、建部町和田南の「山ゆりの会」のおばあちゃん達

この2年間で「農に関わりたい」と思うようになりまし。僕が今までで感じた建部町って

岡山市地域おこし協力隊 頼本 徹

旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



宇甘西ホテルまつり

◎森田卓司の感想

御津「宇甘西ホテルまつり」が開催され、多くの皆様方の参加で開催されました。

◎大森市長の感想

ホテルまつりに行かせて頂いた。賑わいを感じると共に、地域のリーダーの方

※平成29年6月定例 岡山市議会質問前の話



活力のある地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら...

TEL:(086) 722-2237・722-9900 FAX:(086) 722-9911

携帯電話: 090-1337-2249

HP http://www.ta-morita.com/ E-mail: t-morita@po12.oninet.ne.jp

活動日誌 http://blog.livedoor.jp/takushi_morita/



Table with 5 columns: Location, Male, Female, Total, Previous Year Ratio. Rows include Otsu Branch, Tsubota Branch, North District Total, and Okayama City Total.

平成29年12月末日現在